

高齢者施設見守りシステム

非接触式バイタルセンサー使用



人手不足・負担軽減

人による見守りを、センサーがサポートすることにより、介護スタッフの削減、労働負担を軽減できます。

事故を未然防止

センサーにより異変をいち早く発見し、通報することで、事故を未然に防ぐことができます。

低コスト設計

従来型センサーに比べ、低コストで見守りシステムを設置できます。またメンテナンスも原則不要な簡易型設計となっています。

簡易設置

新施設だけでなく、既存施設にも容易に設置できます。

介護プランの提案

検知データの分析により、効率的な介護プランが作成できます。

個別設定・サポート

データの分析結果から、入居者様の身体状況にあった個別設定ができます。

【基本機能】

1. アラーム

- ・安否アラーム：入居者様がベッド上にいるにもかかわらず、呼吸停止（呼吸信号がごく弱くなった場合）した場合にアラームを発します。
- ・所在不明：夜間など入居者様が、長時間ベッド（居室）を離れた場合にアラームを発します。

2. モニタ

- ・着床・離床を確認できます。
- ・検知信号の強さにより体動状況をモニタ出来ます。

※別途分析により、生活パターンとして確認が出来ます)

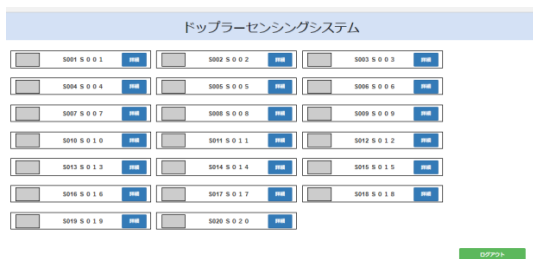
【機器】

1. センサー



- ・センサーとして電波（マイクロ波）式ドップラーセンサーを使用しています。このセンサにより、離床・着床、体動から、きわめて小さな呼吸までを検知します。
- ・使用する電波は極微弱なため、身体に影響を与えることはありません。
- ・検知信号は、Wi-fiによる通信でセンタPCに送信されます。
- ・センサは、天井または壁に設置するため、入居者様の身体に装着する必要が無く、メンテナンスも不要です。

2. センタPC



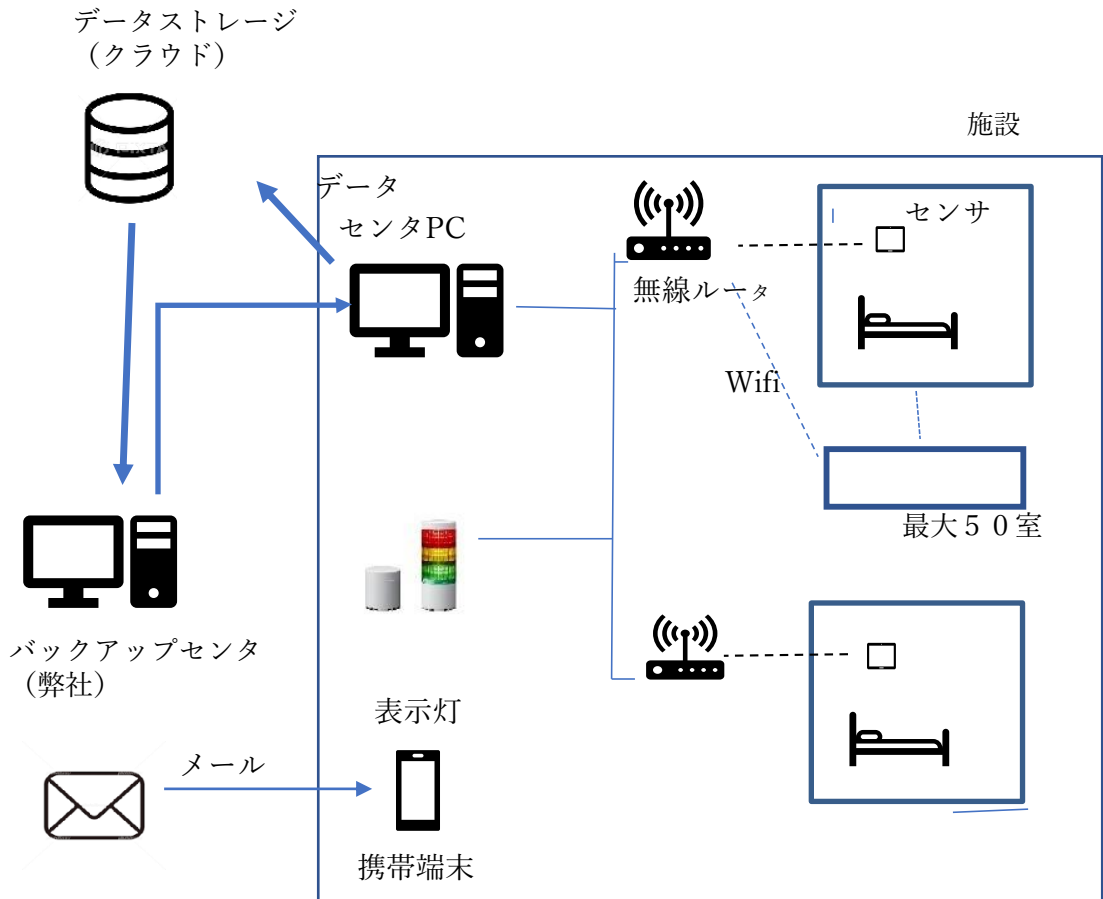
- ・センタPCは、スタッフルームで、ナースコールと同様な画面で、アラームの発生、センサーの検知状況を確認することができます。
- ・アラーム発生時に、別途表示灯の点灯（ブザー）、携帯へのメール送信も可能の為、仮眠中や他の作業中にも、確認が可能です。

【サポート】

各個人に合わせたアラームの発生条件を設定します。生活データの分析は、弊社のバックアップセンターから遠隔で行います。詳細は、別途お問い合わせください。

弊社ドップラーセンサによる見守りシステムは、2015年より異実用化し、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE 総務省）などの研究開発にも使用されています。

【標準構成】



(居室)

- ・センサは、天井または壁に設置します。電源配線のみ必要です。
- ・1システムで、最大50室に対応します。
- ・2人部屋以上にも対応可能ですが、この場合原則、天井設置としてください。
(人の識別はできません)

(センタPC)

- ・通常スタッフルームに設置します。サポートサービス、メールサービスが必要な場合、外部のインターネット回線が必要です。

(バックアップセンタ、データストレージ)

- ・弊社側で準備します。

(メール)

- ・アラーム発生時に通知します。

(表示灯)

- ・ネットワーク回線で制御するので、仮眠室、廊下などでも設置できます。

(無線ルータ)

- ・施設内に複数台設置します。設置台数は、施設の広さ、構造によります。
- ・無線ルータとセンタPC間の接続は、原則イーサ(有線)とし、配線が必要です。

鴻英株式会社

〒105-0013東京都港区浜松町2-2-15

TEL : 03 - 6848 - 3388 / FAX : 03 - 6431 - 0409

Mail : prsome0520@cameo.plala.or.jp